

人口減少問題対策特別委員会 県内行政視察概要

令和4年4月25日(月)～26日(火)

① NINNO (ニーノ) (木山産業株式会社) (新潟市)

[視察テーマ] O I T 関連企業の集積に向けた取組について

○施設視察

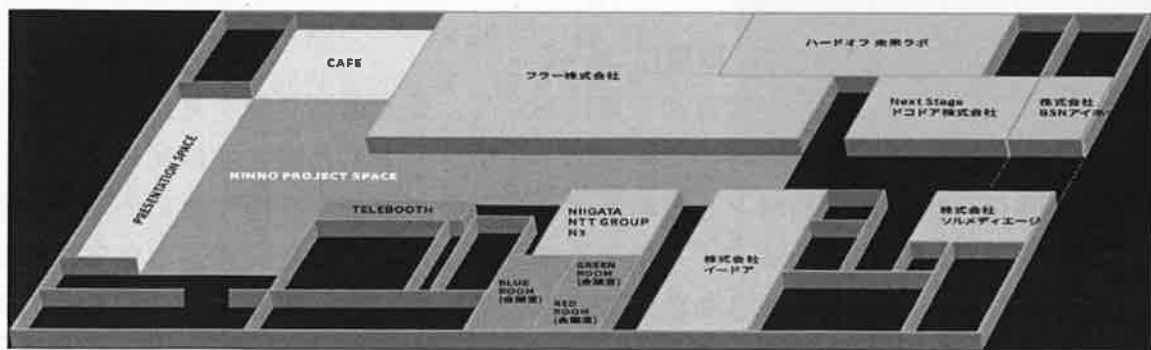
◆ NINNOについて

NINNOは、5Gの開発実証実施と新潟県を牽引するIT関連企業の集積を目的とし、新潟県の補助事業「新潟県IT企業誘致拠点整備促進事業補助金※」の適用施設として、令和2年11月に木山産業株式会社が開設した。NINNOという名称は、「NIIGATA (にいがた)」と「INNOVATION (イノベーション)」を掛け合わせたもので、オフィス専用施設のほか、共用部には大規模スクリーン、カフェ、会議室、個室ワーキングBOXなどを設置し、入所企業がイノベティブに活動できる空間となっている。



令和4年4月現在、本県出身者が創業したフラー株式会社や東京から進出してきた株式会社イードアなど、7社が入居している。施設ではこれまでに、ITに関する交流イベントや、企業間の連携プロジェクトが行われている。また、今後は増設が予定されており、新潟県最大級のITイノベーション施設として、本県へのIT関連企業の誘致が期待される。

※IT企業誘致拠点整備促進事業補助金：IT技術を活用して新たなビジネスを創出する企業の集積拠点を整備することにより、IT企業誘致の促進を図るため、民間事業者が行う、コワーキングスペース等の整備を支援するもの。補助率は対象経費の2/10以内で、補助上限40,000千円。



② 一般社団法人佐渡観光交流機構／佐渡市議会（佐渡市）

[視察テーマ] ○「佐渡島の金山」の世界遺産登録を見据えた交流人口拡大

に向けた取組について

○施設、現地視察

◆ 「佐渡島の金山」について

「佐渡島（さど）の金山」は、佐渡金銀山を代表する西三川砂金山と相川鶴子金銀山の2つの鉱山で構成される世界文化遺産候補である。国内を代表する金山で

ある「佐渡島の金山」では、江戸幕府の直接管理の下、高純度の金を産む生産技術と、それを可能とする高度に専門化された生産体制が整備され、これは同じ頃のヨーロッパ等の鉱業とは対照的なあり方を示すものである。

現在、佐渡には金の生産技術に関わる採掘や選鉱等の遺跡、生産体制に関わる奉行所跡などが残り、鉱山の全体像を理解することができる。こうした遺跡が良好な状態で残るのは世界的に見ても佐渡だけであり、そこに世界遺産登録の意義があると考えられている。



◆ きらりうむ佐渡について

佐渡金銀山の玄関口として遺跡全体の価値を分かりやすく解説する施設で、現地訪問のための情報発信の拠点となることを目指し、平成31年4月にオープンした。施設内では佐渡金銀山の概要や見学コースをグラフィックで分かりやすく紹介している

ほか、展示室では、佐渡金銀山の魅力や価値を、大型映像、地形模型、プロジェクションマッピングで紹介している。さらに、ガイドマップやガイドアプリなどを活用し、史跡やまち歩きのための現地情報を提供している。



◆ 交流人口拡大に向けた取組について

佐渡市は、令和4年度当初予算において、世界遺産登録を見据えた文化、歴史、自然、スポーツ等のツーリズムをテーマとした着地型観光の受入体制の強化、世界遺産を核とした周遊滞在型観光の構築を目指すための滞在型観光促進事業、観光地域づくり推進事業、対岸市等交流拡大推進事業等に予算を計上し、他にない独自の資源を活かした持続可能な観光地域として国内外

の多くの人から選ばれ、訪れ、体感し、暮らしたいと思ってもらえる観光戦略を展開するとしている。

また、地域DMOとして登録された、一般社団法人佐渡観光交流機構は、佐渡観光に関する市場調査の実施や、来島につながる誘客宣伝など、佐渡全体の観光地域づくりに取り組んでいる。「佐渡島の金山」の世界遺産登録を見据えた交流人口拡大に向けて、地域DMOとしてさらなる活躍が期待される。

※DMO：観光地域づくり法人のことで、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人。

③ 県立羽茂高等学校（佐渡市）

[視察テーマ]○伝統文化を通じた地域おこしの取組について

○地域探究コースを中心とした地域と連携した取組について

◆ 学校概要

昭和9年に羽茂専修農学校として創立され、昭和24年は農業科に加え、普通科を設置し、新潟県立羽茂高等学校と改称した。南佐渡における唯一の後期中等教育機関として、普通科、農業科、園芸科、家政科を有し、定時制中心校、小木分校、赤泊分校を併設して、地域の学校として変遷を重ねた。

令和2年度からは、全日制普通科1学級募集となり、「地域探究コース」、「文化教養コース」のコース制を導入し、より一層地域と連携した取組を推進しており、小規模校であることの特長を最大限に活かした魅力ある学校づくりを展開している。

◆ 郷土芸能部について

平成6年に、郷土芸能クラブとして発足し同年の全国高等学校総合文化祭出場以降、これまで幾度も同祭に出場している。演目を佐渡民謡として活動し、平成28年の総文祭にて最優秀賞・文部科学大臣賞（郷土芸能部門の伝承芸能部門で1位）を受賞している。



また、地域と連携しながら伝統芸能を継承し、部活動を通して生徒の郷土愛や地域振興の心を醸成したことなど、部活動指導による生徒の育成が評価され、令和2年度の、全国の国公立学校で優れた成果を上げた教職員や教

職員組織を表彰する、文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞した。羽茂民謡研究会を講師として、全国大会出場やイベントへの参加など、地域で一体となって佐渡の民謡を受け継ぐ活動に励んでいる。

◆ 地域探究コースについて

令和2年度から、地域探究コースを新設している。地域の諸課題を発見し、その解決案を検討する、ソーシャルデザインなどといった学校設定科目があり、英語観光ボランティア、ジオパーク、郷土芸能など、地域探究の学びを通して、佐渡を思う心や国際理解力、協調性、情報発信力を育むこととしている。目指す生徒像は「佐渡で成長しながら活躍する人」、「佐渡に帰り、心身ともに大きくなって活躍する人」、「佐渡を外から支え、応援する人」を掲げている。

④ NEXT佐渡／佐渡市議会（佐渡市）

〔視察テーマ〕 ○創業支援、企業誘致の取組について

○移住・定住の促進に向けた取組について

○地域おこし協力隊の活躍や定着状況について

○施設視察

◆ NEXT佐渡について

NEXT佐渡は、島内の若手経営者が中心となり、各専門家や県、市、銀行などと立ち上げた民間の任意団体で、創業・企業誘致を支援するチームとして平成27年の冬に設立された。これまでに何社もの創業と企業誘致を実現している。NEXT佐渡主催による会議を開催し、起業やサテライトオフィス設立希望者に対して、事業に関する助言やオフィス立地の場所などを支援しており、創業者には必ずメンターをつけて、起業後も安心して事業を進められるような体制になっている。

NEXT佐渡の事務局でもある taneCREATIVE（タネクリエイティブ）株式会社は、新潟県の民間スタートアップ拠点として、さらに佐渡市の企業コーディネーターにも認定されている。首都圏のベンチャー企業と佐渡をつなげる重要な役割を果たしている taneCREATIVE の榎 崇斗 代表取締役は、「進出した企業が成功し、この地に定着するための支援をやっていきたい。進出した企業の事業拡大は、島内の雇用創造にもつながるため、佐渡で働きたいと思ってもらえるような下地作りを今後も強化していきたい。」としている。

◆ REBIRTH 佐渡ワーケーションプレイスについて

REBIRTH 佐渡ワーケーションプレイスは、起業や事業拡大の拠点となるインキュベーションセンターとして、佐渡市吾潟の加茂湖畔に開業した。トレーラーハウス4台に県内外8社が入居し、眺望にも恵まれて好評である。満席のため、今年度はトレーラーを2台増設する予定。本施設は、NEXT佐渡が、島外の企業誘致や起業を支援する活動を強化するために設立した。



佐渡市内には、同所を含めて民間のインキュベーションセンターが3カ所あり、佐渡市も他地域で設置を進めている。企業が拠点を設ける際に課題となる物件の確保を支援することで、移住や雇用拡大を促進したい狙いがある。

◆ 移住・定住の促進に向けた取組について

佐渡市は、移住希望者の総合受付窓口として、佐渡UIターンサポートセンターを設置し、「住む・働くの情報発信」と「暮らしの相談・交流」の二本柱でサポートを行っている。移住促進策として、移住支援金や引越費用補助などの支援のほか、空き家を改修して定住体験住宅を整備し、最長6か月の定住体験が可能な制度や、小中学生の島留学の募集といった佐渡ならではの取組を行っている。

◆ 地域おこし協力隊について

佐渡市では、平成24年度から合計47名の地域おこし協力隊員を採用してきており、任期を終えた隊員のうち、19名が佐渡で定住し、それぞれ独自の活動を続けている（人数はいずれも令和3年12月現在）。令和4年1月現在では16名の隊員が島内の各地で活躍している。

県では、令和4年度より、新たに県地域おこし協力隊を導入し、若者等の外部の新たな視点を活用して、広域的な課題の解決を図るとともに、移住希望者の呼び水とするため、その活躍ぶりを発信することとしている。また、新たに地域おこし協力隊サポートコーディネーターを配置し、市町村における協力隊の受入体制等の構築を支援するなど、地域おこし協力隊を活用した関係人口の拡大を推進する。

人口減少問題対策特別委員会 県内行政視察日程表

月 日	発着時刻	発着地・視察先	備 考
4/25 (月)	10:00 (発)	議会庁舎	[参集場所] 議会庁舎正面
	10:15 (着)	● NINNO(ニノノ)	〒950-0911 新潟市中央区笹口1-2 PLAKA2 TEL:025-240-2545 FAX:025-240-2473
	11:15 (発)	○ IT関連企業の集積に向けた取組について ○ 施設視察	
	11:25 (着)	【 昼 食 】 ホテル日航新潟 桃李	〒950-0078 新潟市中央区万代島5-1 ホテル日航新潟 3F TEL:025-240-1941 FAX:025-240-1880
	12:15 (発)		
	12:25 (着)	新潟港	〒950-0078 新潟市中央区万代島9-1 TEL:025-245-5111
	12:55 (発)	《佐渡汽船ジェットfoil》	
	14:02 (着)		〒952-0014 佐渡市両津湊353 TEL:0259-27-5111
	14:10 (発)	両津港	
	15:00 (着)	● 一般社団法人佐渡観光交流機構 ● 佐渡市議会	【きらりうむ佐渡】 〒952-1562 佐渡市相川三町目浜町18-1 TEL:0259-74-2215 FAX:0259-74-2223 【佐渡金山】 〒952-1501 佐渡市下相川1305 TEL:0259-74-2389
16:40 (発)	○ 「佐渡島の金山」の世界遺産登録を見据えた交流人口拡大に向けた取組について ○ 施設、現地視察 きらりうむ佐渡にて、説明聴取、施設視察をした後、佐渡金山に移動し、現地視察を行います。		
17:00 (着)	【 宿 舎 】 Ryokan浦島	〒952-1325 佐渡市窪田978-3 TEL:0259-57-3751 FAX:0259-57-3762	
4/26 (火)	8:30 (発)	【 宿 舎 】 Ryokan浦島	
	9:10 (着)	● 県立羽茂高等学校	〒952-0405 佐渡市羽茂本郷410 TEL:0259-88-3155 FAX:0259-88-3123
	10:00 (発)	○ 伝統文化を通じた地域おこしの取組について ○ 地域探究コースを中心とした地域と連携した取組について	
	11:00 (着)	● NEXT佐渡 ● 佐渡市議会	【あいぼーと佐渡】 〒952-0011 佐渡市両津湊384-11 TEL:0259-67-7633 FAX:0259-67-7634 【REBIRTH佐渡ワーケーションプレイス】 〒952-3421 佐渡市吾湯39-2 ○窓口 【NEXT佐渡事務局】 (taneCREATIVE株式会社) TEL/FAX:0259-67-7572
	12:30 (発)	○ 創業支援、企業誘致の取組について ○ 移住・定住の促進に向けた取組について ○ 地域おこし協力隊の活躍や定着状況について ○ 施設視察 あいぼーと佐渡にて、説明を聴取した後、REBIRTH佐渡ワーケーションプレイスに移動し、施設視察を行います。	
	12:45 (着)	【 昼 食 】 鮎 長三郎	〒952-0116 佐渡市新穂81-4 TEL:0259-22-2125 FAX:0259-22-2351
	13:45 (発)		
	14:05 (着)	両津港	〒952-0014 佐渡市両津湊353 TEL:0259-27-5111
	14:35 (発)	《佐渡汽船ジェットfoil》	
	15:42 (着)		〒950-0078 新潟市中央区万代島9-1 TEL:025-245-5111
15:50 (発)	新潟港		
16:10 (着)	議会庁舎	解 散 ※到着時間が遅いのでご注意ください。	